

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部



身を反らし風に踊るや花芒

西町 金澤頼子

さわやかや髪ぬれたまま客迎むかう

西町 杉浦とし枝

夕陽うけ風にまかせた尾花かな

元町 印牧安子

運動会行けずビデオを待つ祖父母

藤本町 鈴木ゆき子

穏やかに手招くすすき無人駅

仲町 坂部和子

花蕎麦の見ゆる山並み青き空

西岡町 高瀬久美子

みずいろの空のよみじや鱗雲

仲町 玉野研一

すすきの穂峠の風にさからわず

元町 西崎弘子

古傷の痺れ気になる秋の風

東町 高橋世津子

病葉や人の命のはかなさよ

西原町 児玉久美子

山脈を乗り越え秋の雲来たる

仲町 梅基文子

無月なり草叢くさむらに鳴くしみじみと

西町 文梨清子

夫恋ふや友旅立てり秋天へ

緑町 池田良子

秋の日やパラリンピック釘付に

旭町 大河博子

木立より跳ねるもの見て夏盛ん

仲町 芳賀星子

よろこびを誘ひあひては木の実降る

西岡町 渋谷みさ子

すす虫の声をのがさず戸を開ける

西町 岸波君江